

伊藤議員

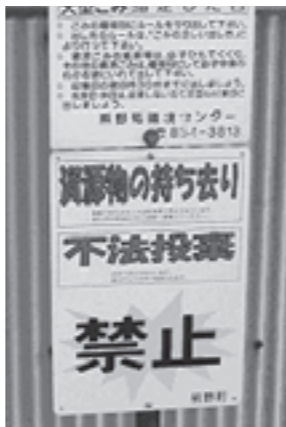
Q 熊野町の環境施策について

A 環境行政推進のため、住民・事業所・行政が一体となって進めていきたい (立花民生部長)

A 今年度は、住民・事業所・行政が一体となり、資源循環型社会の構築を基本理念として、ごみ処理基本計画の見直しを予定。さらに、町民の参加を促すため、熊野町廃棄物減量等推進審議会の委員の一部公募や、計画案のパブリックコメント等を予定している。防犯灯についてもLEDの導入を検討したい。

Q 地方自治体が担う環境行政の役割は、ますます大きくなってきている。町民参加を促す手法や、資源循環型地域づくり、自治体エネルギー政策など、先進事例は多くある。町でどのような取り組みを目指し、検討しているか。

Q 4月から施行された資源ごみ持ち去りの罰則規定の状況はどうか。また、環境教育で検討されていることがあるか。



A 資源ごみ持ち去りに対しては、巡回指導をし、持ち去り者5名に対して誓約書をとって指導をしている。今後は勧告書、最終的には告発など、資源ごみの持ち去りを規制していきたい。

A また、環境問題は幼少時からの教育が重要だと考えている。児童・生徒を集めての講演会や教育といったものを今後調査・研究していきたい。

久保隅議員

Q 町の木 (梅) について

A 保育園の敷地に植林を要請したい (内田民生課長)



A 町制70周年を契機に、町民からの公募によって指定され、学問を好む木ということから毛筆との関係もあり決定された。また、広場については将来的に活用策を考える必要があるため、植林は難しいが、保育園の敷地には可能であるため指定管理者に要請したい。四季の花は、植栽の申し出が地域の方からもある。

Q 町の木決定までの経過を教えてください。また、子どもたちに認識してもらいたいため、くまの・みらい保育園南側の広場に梅の木を植えられるか。同様に、周囲の広場に四季の花を植えてはどうか。

久保隅議員

Q 草刈り等の支援について

A 補助事業に該当するようであれば紹介する (内田民生課長)



▲きれいに草刈のされた広場

A 現在広場を利用する傍ら、ボランティアで草刈りをしていただいている。今年度、熊野町協同のまちづくり事業が予算化されており、この中でシニアボランティアに対する補助事業も検討されているため、該当するようであれば当該事業を紹介したい。

Q 団地老人会の方々がくまの・みらい保育園南側広場の草刈りをされているが、燃料代、草刈の刃の費用くらいは支援してはどうか。

建設部門

山野議員

Q 熊野団地内の道路補修について

A 舗装状況の悪化が進んでいるため舗装打ち直し工事を随時実施していく (森本建設課長)



▲熊野団地内の道路

Q 春頃から団地のメイン道路及び北県宮横から県道矢野安浦線に出る道路が非常に傷んでおり、車の走行にも気をつけないとハンドル操作を誤る恐れがある。何年前に補修されたのか、今後補修の予定はあるか。

A 団地メイン道路(団地1号線)は平成12~15年度に、北県宮前(団地5号線)は平成6年度にそれぞれ舗装打ち直し工事を行っている。団地1号線については調査を行い、この6月議会に舗装の予算を計上した。財源は県の交付金を活用。団地5号線は国・県の事業に要望し確定したら実施したい。

白築議員

Q 新型インフルエンザの対応について

A 関係機関との連携強化に努めていく (宗條健康課長)

A 町民に対し、感染防止策の啓発や相談窓口等の情報提供を行っている。医療体制については、県において体制の拡充が図られており、関係機関との連携強化に努めていく。また、災害時の備蓄物品にはマスクを加えるよう啓発し、事業所に対しても保護者が休みやすい環境になるよう要望していきたい。

Q 新型インフルエンザの町内対応について、情報の提供と啓発、また相談と医療の体制はどうか。また、マスクは高齢者などに配布し、子どもがかかった場合などは、事業所等に対して親が休めるよう要請してはどうか。